

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画
初回利用時はその日のリーダーが「今日は私が担当です。何かあればいつでも声をかけてください」と伝え、本人が環境に慣れるための窓口としての役割を担う。その後、1 か月間はその日の担当者がその役割を担い、利用者が抱きやすい新しい環境での人・空間等への戸惑いや不安を軽減するような対応を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
初日はリーダーが窓口になり対応している。2 回目以降の利用時は、その日の出勤スタッフが全員、個々に声をかけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10	1	0	14
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	1	11	2	0	14
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	0	12	2	0	14
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	0	10	4	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ミーティングでの CM からの情報提供により、必要としている支援・生活歴等の情報を事前に得ることにより、初めの関わりの糸口につながっている。利用開始初期の利用者の表情・言動を細かくケースに残すことにより、他スタッフとの共有が行えている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	家族と直接話をする機会が、現場職員は少なく、家族との関係づくりは CM に任せっきりなどところがある。利用初期は情報収集のことばかりを考えて関わっており、本人の立場になった新しい環境への不安・戸惑いを軽減できるような対応ができていない。家族との関係づくりが連絡帳のみとなっている。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	新しい環境への不安・戸惑いの軽減を図るため、初回利用時には、事業所内 (館内) の案内等のオリエンテーションを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	2 人	0 人	14 人

前回の改善計画
ミーティング時に管理者から指名をされた職員が、担当利用者の「望む暮らし」や関わりにおける「ポイント」「留意点」について 1 人 3 分間でのプレゼンテーションを行う。その後、そのプレゼンテーションに対し他職員からの情報提供や意見交換を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
プレゼンテーションをすることで利用者の対応の見直しや利用者を知ろうとする機会が増えている。自分以外の意見や助言もあり、情報共有の場は得ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	10	2	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	12	1	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	11	2	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	6	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ミーティング・計画書において情報交換は出来ており、プレゼンテーションによっても意見交換や情報も得ている。計画書や目標に沿って取り組みや声かけをしているが、本人の体調や精神面をみながら対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者全員は把握できておらず、情報をしっかり活かしているか、目標に沿ってスタッフ全員が同じ支援が出来ているかと問われると定かではない。また、目標のための新たな取り組みも出来ていない。プランに沿った記録が書けておらず、実践した内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
前回の改善計画がようやく一回りしたので、前回同様、ミーティング時に管理者から指名された職員が担当利用者についてのプレゼンテーションを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13:30~14:10 )

3. 日常生活の支援

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	2人	0人	14人

前回の改善計画	ミーティング時に管理者から指名をされた職員が、担当利用者の「望む暮らし」や関わりにおける「ポイント」「留意点」について1人3分間でのプレゼンテーションを行う。その後、そのプレゼンテーションに対し他職員からの情報提供や意見交換を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	プレゼンテーションをすることで利用者の対応の見直しや利用者を知ろうとする機会が増えている。自分以外の意見や助言もあり、情報共有の場は得ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし」が10個以上把握できていますか?	0	4	10	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	11	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	5	9	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	12	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の体調、気持ちを確認しながら状況に合わせた支援をするようにしている。体調の変化・生活面・心理面での変化については、他スタッフと相談する、看護師やケアマネジャーと連携をとり対応している。また、まだ十分ではないが記録 (SOAP) している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「以前の暮らし」を知ろうとする機会が増えたが10個以上いえるかという自信もなく、コミュニケーション不足も感じる。本人の声にならない声を本人の声や表情等から気付くこともあり、記録 (SOAP) 記入されているが、どのように伝えてよいか自信もないため対応策がなく、チームとしての共有が不足している。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) サービス実施記録表 (A3) に記入する申送り内容を、中長期間のものは左の申送り欄 (名前の横) に、当日のみの状態変化やケアポイントについては右の申送り欄に分けて、記載していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	6 人	1 人	14 人

前回の改善計画  
ミーティングにおいて管理者から指名された職員は、その月の間に担当利用者のエコマップ (初回) を作成する。その後、6 か月間かけてそのエコマップに本人や家族、地域等から得た情報を随時書き込んでいき、再作成していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
管理者から指名され、各自エコマップを作成し取り組んでいる段階である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	12	2	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	9	5	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	5	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	7	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
エコマップの活用でその人その人の地域での暮らし等理解している。また、ふたくち屋の利用でなじみの店に行ったりしていることも把握できている。また、エコマップを活用し始めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
文面上や CM を通じての把握は出来ているが、活用となるとうまくできていないと思っている面もある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
2 回目以降のプレゼンテーション時には、エコマップも提示する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画  
ミーティングにおいて管理者から指名された職員は、その月の間に担当利用者のエコマップ (初回) を作成する。その後、6 か月間かけてそのエコマップに本人や家族、地域等から得た情報を随時書き込んでいき、再作成していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
ほぼ全員がエコマップ作成に取りかかり、情報収集に努めている。本人と家族、地域との関わりにおいて関心を持つきっかけになっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	5	6	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	10	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	10	3	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	2	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者の状態、家族の状況に合わせた対応がおおむねできている。利用者の状態や変化など申送りやミーティングにおいて話し合い、情報を共有し継続できるようになってきている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
エコマップについてはまだ情報収集の段階であること、担当者意識や地域資源とのつながりへの関心が薄いことがあげられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
2 回目以降のプレゼンテーション時には、エコマップも提示する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

6. 連携・協働

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	4人	0人	14人

前回の改善計画
ミーティング時に管理者から指名をされた職員が、担当利用者の「望む暮らし」や関わりにおける「ポイント」「留意点」について1人3分間でのプレゼンテーションを行う。その後、そのプレゼンテーションに対し他職員からの情報提供や意見交換を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
プレゼンテーションをすることで利用者の対応の見直しや利用者を知ろうとする機会が増えている。自分以外の意見や助言もあり、情報共有の場は得ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	5	4	2	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	2	6	3	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	6	3	3	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	5	2	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 運営推進会議や担当者会議など管理者やCMが参加できている。 ② 管理者、CMが参加され情報をミーティング時に報告している。 ③ 毎年参加する行事に参加している。 ④ 職場体験や歌謡クラブ、隣の方が野菜や花を持ってきてくれる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① サービス機関への会議の参加が出来ていない。 ② 現場職員が他のサービス機関や人々に関わる機会がない。 ③ ④ 地域や他機関との交流が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
③ 地域イベントや行事については、掲示板に広報の便りやイベント広告を掲示する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

7. 運営

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	4 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画

ミーティング時に管理者から指名をされた職員が、担当利用者の「望む暮らし」や関わりにおける「ポイント」「留意点」について 1 人 3 分間でのプレゼンテーションを行う。その後、そのプレゼンテーションに対し他職員からの情報提供や意見交換を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティングでは順番にプレゼンテーションを行っている。初回より段々とスタッフの発言が増え、提案などもできるようになった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	5	7	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	3	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	7	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

②③では当日のうちに原因や対策を考え、スピーディな対応を行っている。その後のミーティングなどでも話し合いが必要であれば行っている。  
④ 町の行事への参加や運営推進会議に参加し、事業所としての町の人との交流もある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① 職種によって、なかなか発言できなかつたり、ミーティング等での発言の場が限られている。  
④ 介護職員も運営推進会議に参加することは増えたが、パートタイムや業務の都合上、出席していない職員も多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

空き時間を活用し、運営推進会議録を読み、地域の方の考えなど理解していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	0 人	9 人	5 人	14 人

前回の改善計画
不定期に管理者が指定した日に、その日の勤務者は、「今日の〇〇さんの、△△な対応がこういう理由でとてもよかった」というレポートを提出する。それを2か月ごとに集計し、全職員で共有し、自分もできることを実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
人を評価する要素が含まれている計画だったため、未熟な段階で行うとマイナス効果の方が強く出てしまう可能性が高いと判断したため実施しなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	8	3	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	4	3	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	4	5	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	4	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	毎月の施設内研修は当番制でテーマに沿うように企画・実施している。ミーティングは管理者、CM、現場スタッフの他職種との情報交換の場・ケアの方向性に役立たせる機会となってきた。職員もできる限り参加しようと心がけている。スキルアップに活かそうと努めている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	時間帯により、家庭の事情等の理由から参加できていない研修がある。ミーティングなどで話し合ったこと、知りえた情報をケアに活かすできていないことがある。プロ意識、向上心の低さが問題点なのかもしれない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	職員が参加しやすい時間帯 (例えば、ランチミーティングのように) での施設内研修を試行してみる。また、参加できなかった職員は、後日、研修資料に目を通しそれを基に、学びや感想を記載する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 21 日 ( 13 : 30 ~ 14 : 10 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 福岡・松山・羽田・田口・角・荒井・山崎・上納  
中村・野崎・渡瀬・渡辺・鈴木・寺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	5 人	5 人	14 人

前回の改善計画
不定期に管理者が指定した日に、その日の勤務者は、「今日の〇〇さんの、△△な対応がこういう理由でとてもよかった」というレポートを提出する。それを2か月ごとに集計し、全職員で共有し、自分もできることを実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
人を評価する要素が含まれている計画だったため、未熟な段階で行うとマイナス効果の方が強く出てしまう可能性が高いと判断したため実施しなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1	3	5	5	14
②	虐待は行われていない	7	6	1	0	14
③	プライバシーが守られている	3	11	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	5	6	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	9	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者と接する中で、言葉遣いや声のかけ方等で相手の動きを制限するスピーチロック、直接身体を奪う身体拘束・虐待が侵されていないか注意して取り組んでいる。個人情報については、地域の方から聞かれても濁して返答し、利用者の人権・プライバシーが守れるよう、お互いが気を付けて声を掛け合っている。成年後見制度は資料から情報収集や制度の意味を理解することに努めている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	スピーチロックに関しては、自分で気付かない (意識していない) うちに大きな声で対応したり乱暴な言葉遣いで行動を制限してしまう場面がある。また、目に見えない拘束ほど気付かないことも多く、タイムリーな注意も出来ていない状況。成年後見制度は、身近な利用者で利用している対象者がおらず、今は理解できていない。個人情報の管理に関しては、記録 (ケース記録等) を他利用者の目につくところに置いたり管理がずさんな時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	利用者と接する中で、身体拘束 (スピーチロック)・虐待・プライバシーの侵害があった場合、気付いた人がその場で注意し、タイムリーな対応と自分の行動を思い出す環境作りを行う。 個人ケース等の記録は使用した後は、きちんと元の場所に戻す。